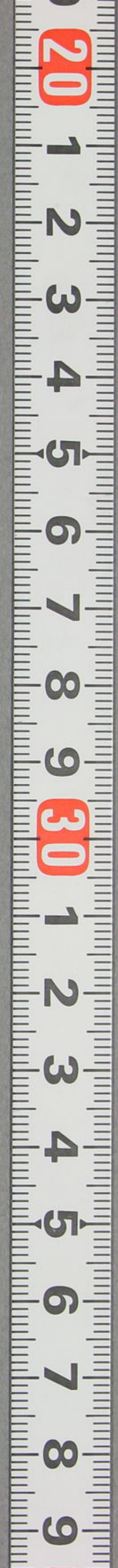


兒雷也豪傑譚
第廿六編

上

~ 13
3811
32



ふらふらふらふら

上冊

柳下亭

種員作

一雄齋

國輝画



芝神明前
和泉屋市兵衛板

3811
32

閑人倚柱笑雷公閑人倚柱笑雷公と韓致堯が詩あり神のまじしごとくみくらもつりしやうの
万葉集万葉集に載る倭歌され漢上の王褒の孝の爲よ雷を恐ど 我邦我邦の少部
栖輕栖輕ハ勅を蒙り雷を追ふ事跡ら古くる諾樂時代大和ハ雷立わさバ
越後越後下雷 雷谷雷谷雷劍ハ奇石の名りて雷乾雷汁ハ飲食の内
其味其味増し内膳鉢摺子木の漢名も亦雷盆雷枕と名らふれり抑是を
出出するハ雷市と唱へ雷公と申或ハ火雷神と号する 狂句狂句者流ハ杯例の不礼口吟ふやうなけん
巨巨 頗頗 雷雷 譜譜 といふといふはめけりも此書初編ハ兒雷也
雷雷 賦賦 捕捕 一一 話話 とと 爰爰 復復 説説 のの 事事 電電 光光 形形 のの 篋篋 模模 三三 雷雷 法法
異異 称称 序序 事事 ひひ りり 也也

嘉永乙卯正月 柳下亭種員識

見雷也七六

見番也此六



東海道の
赤目峠
赤目峠の庸醫

鶴橋の
屋敷
の
眺





望月の處女
白露

白



月影家の
中老関屋

駿河國府中在
毛草邑の張唄
非田治

月

東江尻領
西府中領

見番四七六



夢埜蝶兵衛

見番七九六





あつちのうらやまの
まごころをこめて
おぼろげな
あつちのうらやまの
まごころをこめて
おぼろげな
あつちのうらやまの
まごころをこめて
おぼろげな

くちのうらやまの
まごころをこめて
おぼろげな
あつちのうらやまの
まごころをこめて
おぼろげな
あつちのうらやまの
まごころをこめて
おぼろげな



あつちのうらやまの
まごころをこめて
おぼろげな
あつちのうらやまの
まごころをこめて
おぼろげな
あつちのうらやまの
まごころをこめて
おぼろげな

あつちのうらやまの
まごころをこめて
おぼろげな

種員作

國輝画



兒雷也豪傑譚
 廿九編 柳下亭種員作
 三十編
 三十一編 一龍齋國盛畫

風俗淺間嶽
 柳煙亭種久作
 一壽齋國貞画
 五編六編出版

黃金水大盡盃
 爲永春水作
 一雄齋國輝画
 五編六編出版

地本錦繪問屋 芝神明前 甘泉堂和泉屋市兵衛板

新編金瓶梅
 十編 馬琴作
 大尾 豐國画

小女郎蜘蛛心麻環
 三編 馬琴作
 大尾 國芳画

照天松操月鹿毛
 四編 春風亭柳枝作
 五編 一雄齋國輝画

禁 玉壺生肌膏
 一貝卅六孔
 金瘡 奇功紙 一枚
 即愈

製茶所新喜原 玉樓
 取次所 真乳嶺下
 柳下亭

種員作

國輝畫



亦題曲三國志

下



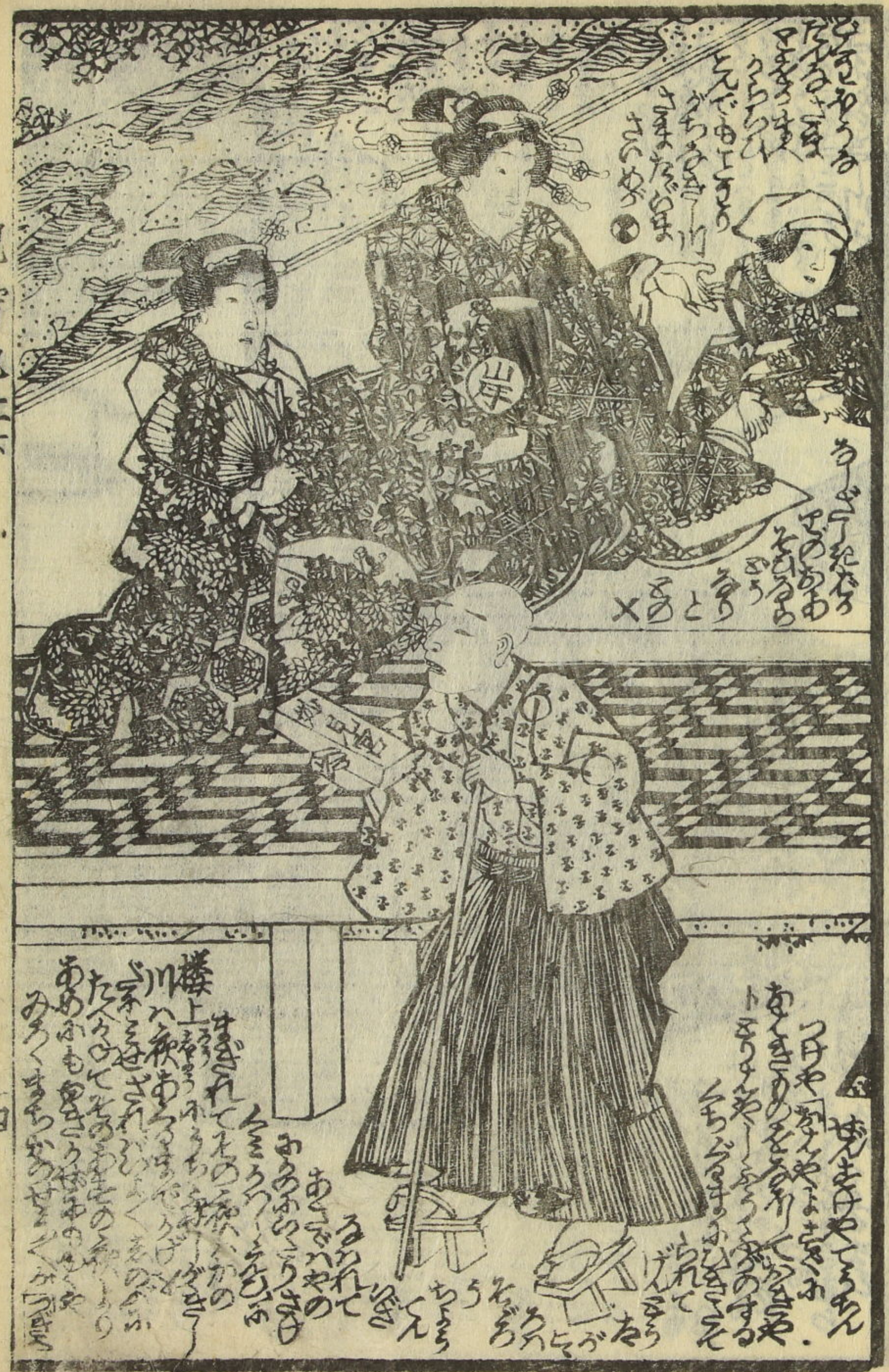
あんなに可愛らしいお月夜を
見ると世のあつたお月夜を
すたすたひとさうり
まじりて



あんなに可愛らしいお月夜を
見ると世のあつたお月夜を
すたすたひとさうり
まじりて
あんなに可愛らしいお月夜を
見ると世のあつたお月夜を
すたすたひとさうり
まじりて
あんなに可愛らしいお月夜を
見ると世のあつたお月夜を
すたすたひとさうり
まじりて

あんなに可愛らしいお月夜を
見ると世のあつたお月夜を
すたすたひとさうり
まじりて
あんなに可愛らしいお月夜を
見ると世のあつたお月夜を
すたすたひとさうり
まじりて
あんなに可愛らしいお月夜を
見ると世のあつたお月夜を
すたすたひとさうり
まじりて





出陣
 出陣
 出陣
 出陣
 出陣

山岸
 山岸
 山岸
 山岸
 山岸

山岸
 山岸
 山岸
 山岸
 山岸

山岸
 山岸
 山岸
 山岸
 山岸



和泉屋

和泉屋
 和泉屋
 和泉屋
 和泉屋
 和泉屋

和泉屋
 和泉屋
 和泉屋
 和泉屋
 和泉屋

和泉屋
 和泉屋
 和泉屋
 和泉屋
 和泉屋

和泉屋
 和泉屋
 和泉屋
 和泉屋
 和泉屋



ふるまわりのその
 ひまわりをみるまはり
 かなしやうさしあつたひの
 うらやまもなむかへんさ
 とんどののこあつたか
 らららるああ上の
 まつりあつたあつた
 むとあつたあつた
 かなしやうさしあつたひの
 うらやまもなむかへんさ
 とんどののこあつたか
 らららるああ上の
 まつりあつたあつた
 むとあつたあつた

ひまわりをみるまはり
 かなしやうさしあつたひの
 うらやまもなむかへんさ
 とんどののこあつたか
 らららるああ上の
 まつりあつたあつた
 むとあつたあつた



現
 ひまわりをみるまはり
 かなしやうさしあつたひの
 うらやまもなむかへんさ
 とんどののこあつたか
 らららるああ上の
 まつりあつたあつた
 むとあつたあつた

ひまわりをみるまはり
 かなしやうさしあつたひの
 うらやまもなむかへんさ
 とんどののこあつたか
 らららるああ上の
 まつりあつたあつた
 むとあつたあつた

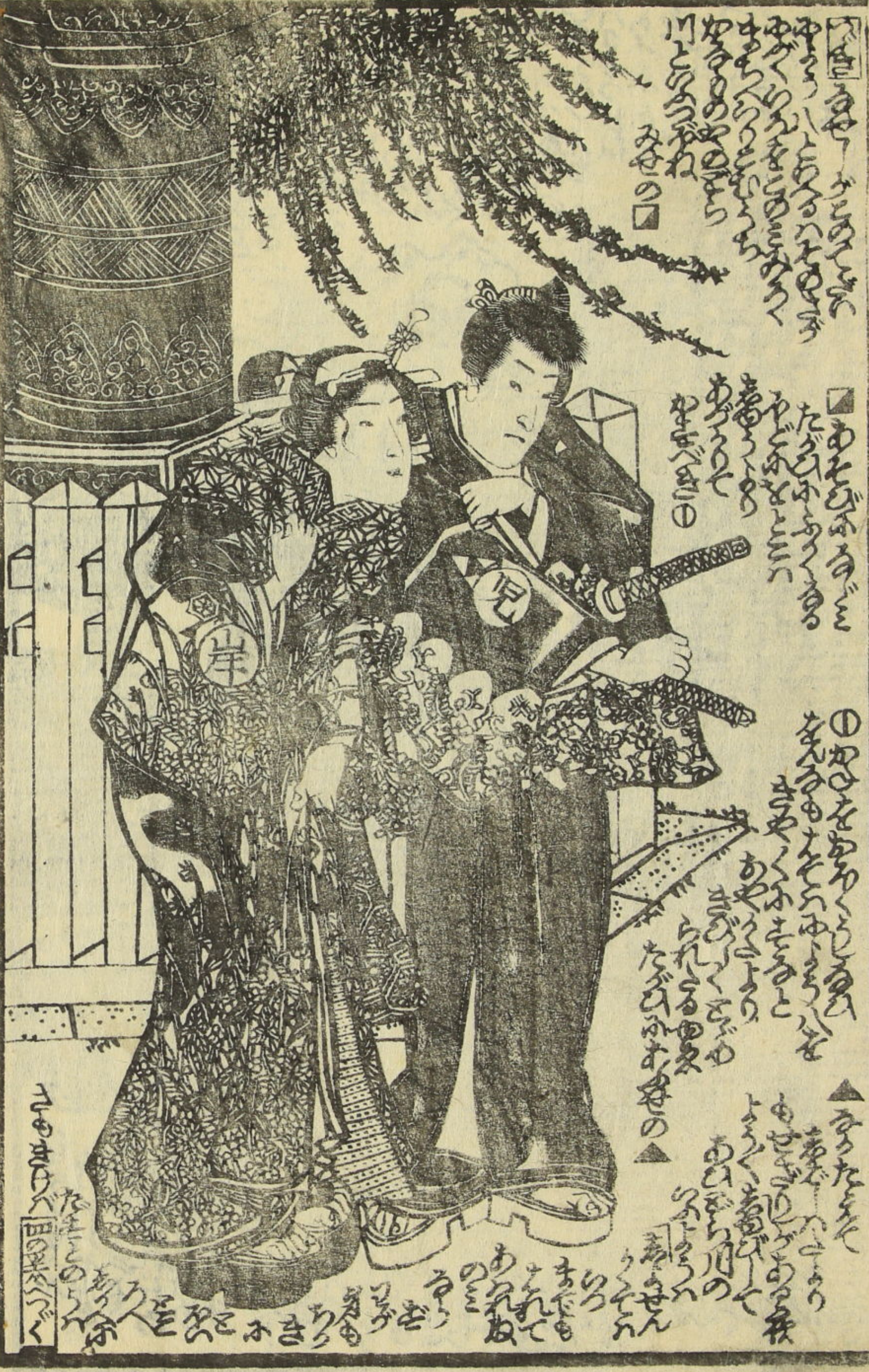


山崎の屋敷
 山崎の屋敷
 山崎の屋敷

山崎の屋敷
 山崎の屋敷
 山崎の屋敷

山崎の屋敷
 山崎の屋敷
 山崎の屋敷

山崎の屋敷
 山崎の屋敷
 山崎の屋敷



山崎の屋敷
 山崎の屋敷
 山崎の屋敷

山崎の屋敷
 山崎の屋敷
 山崎の屋敷

山崎の屋敷
 山崎の屋敷
 山崎の屋敷

山崎の屋敷
 山崎の屋敷
 山崎の屋敷

山崎の屋敷

山崎の屋敷



後のふとをてり川を
つれづれとふらふら
うらやまにけれん
あつちのこころを
うらやまにけれん
あつちのこころを

うらやまにけれん
あつちのこころを
うらやまにけれん
あつちのこころを
うらやまにけれん
あつちのこころを

つれづれと
うらやまにけれん
あつちのこころを
うらやまにけれん
あつちのこころを
うらやまにけれん
あつちのこころを



物
弥
賤
の
金
物
屋
の
釘
屋
の
川

望月の
手代
鏡
八
あつちのこころを
うらやまにけれん
あつちのこころを
うらやまにけれん
あつちのこころを
うらやまにけれん
あつちのこころを

田
中
の
こ
ころ
を
う
ら
や
ま
に
け
れ
ん
あ
つ
ち
の
こ
こ
ろ
を
う
ら
や
ま
に
け
れ
ん
あ
つ
ち
の
こ
こ
ろ
を



とびつらむら

あはれと
のひまを
まごもんと
まるとまご
すまごまご
よりあま
あつてひ
のちまご
おとろく
あはれと
まごもんと
まるとまご
すまごまご
よりあま
あつてひ
のちまご
おとろく



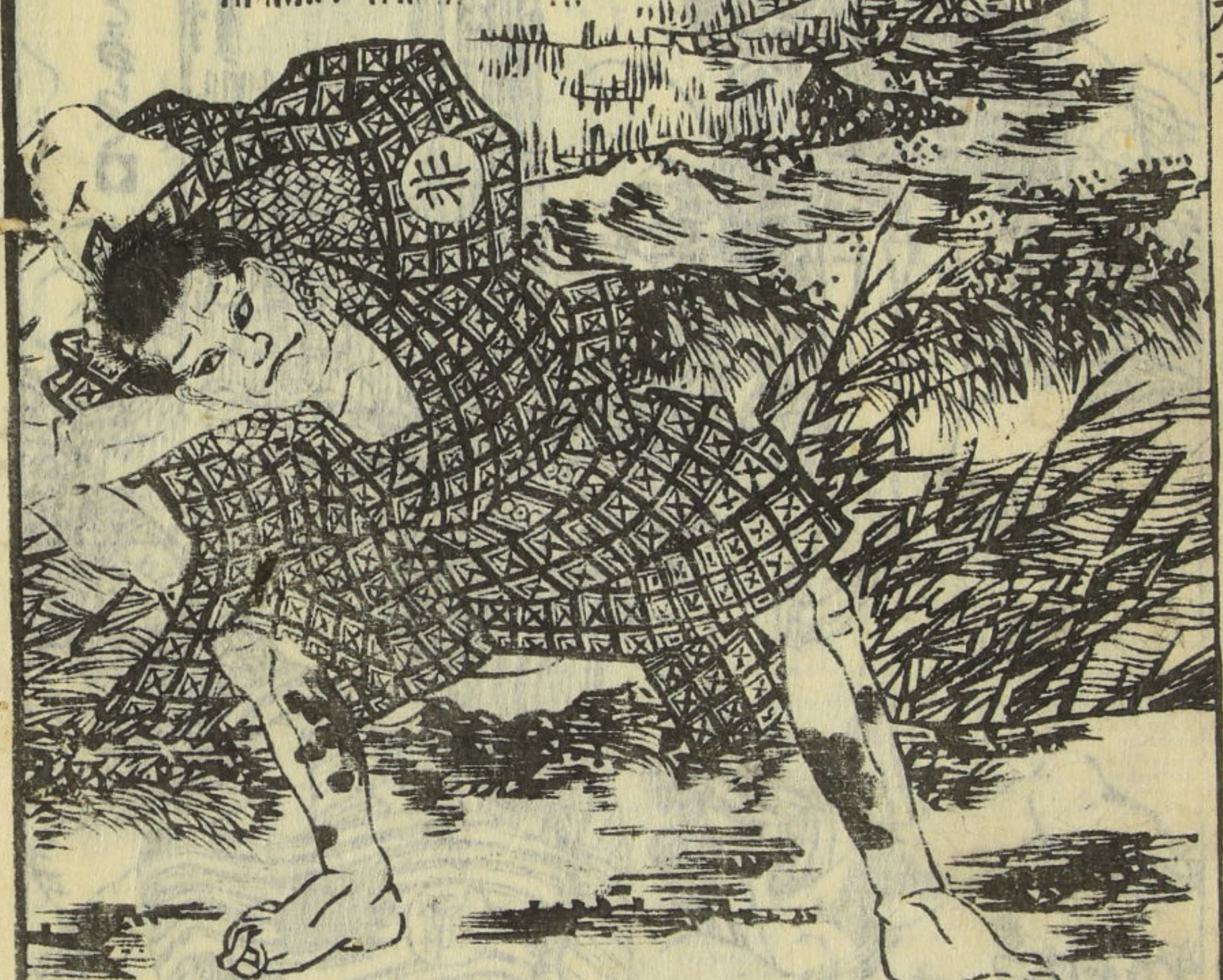
あはれと
まごもんと
まるとまご
すまごまご
よりあま
あつてひ
のちまご
おとろく

あはれと
まごもんと
まるとまご
すまごまご
よりあま
あつてひ
のちまご
おとろく

五田也

六

あやうきやうき
 がらうき
 ことごと
 てそら
 こまの
 おろし
 まは
 うら
 けり
 こゝろ
 の

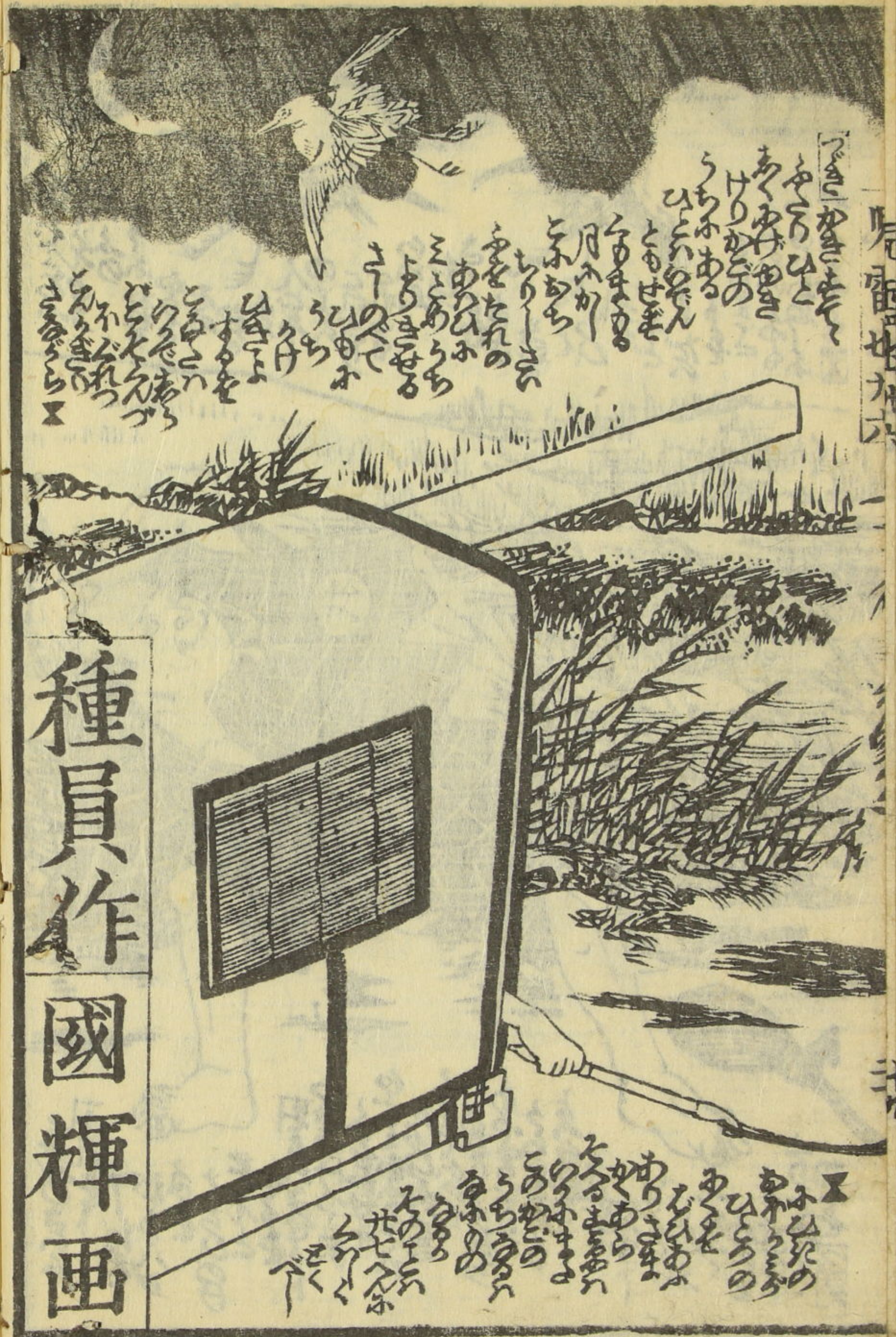


さつぎの
 ことごと
 しん
 の
 さつぎ
 の
 こゝろ
 の
 こゝろ
 の
 こゝろ
 の

あやうき
 がらうき
 ことごと
 てそら
 こまの
 おろし
 まは
 うら
 けり
 こゝろ
 の
 こゝろ
 の



さつぎの
 ことごと
 しん
 の
 さつぎ
 の
 こゝろ
 の
 こゝろ
 の
 こゝろ
 の



種員作國輝画

ふひれの
あつたの
ひつろの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの

あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの

反古 **一休草紙**
十編 柳下亭
十一編 種員作
十二編 一雄齋
十三編 國輝画

小女郎 **如心草環**
三編 曲亭
大尾 一勇齋
馬琴作
國芳画

照天松 **操月鹿毛**
五編 春風亭
六編 柳枝作
大尾 一雄齋
國輝画

風俗 **淺間嶽**
六編 種員校合
七編 種久抄録
國貞畫

柳煙亭 **種久作**
一壽齋 **國貞画**

忠信貞婦
以呂波

文庫

柳下亭 **種員校**
一陽齋 **豊國助**
梅素亭 **玄魚補**
初編と編と版
菱巻二冊別と編と

